インターネットを利用した電力事業者(電力，自家発他)向けASPサービス

大野啓明*
長沼一裕*
片桐三津雄*

要　旨

昨今のインターネットの急速な普及に伴い，インターネットを介したサービスコンテンツの配信事業が多く行われている。こうした中で，三菱電機は，中国電力と共同で，発電所の業務支援／教育支援などのサービスをASP(Application Service Provider)の形態で提供するインフラ基盤と各種システムを開発した。

(1)　ポータルサイト

電力事業者(電力・自家発他)向けのASPサービスを展開するため，“火力発電 研修・技術支援サービスのポータルサイト”を開発し，2001年11月に一般公開した(URL http://www.energia-pet.com)。

ポータルサイトには，当社電力・産業システム事業所の共通顧客管理プラットフォームのOne-to-One技術(個別のユーザーごとに独自の情報を提供できる仕組み)を活用した。

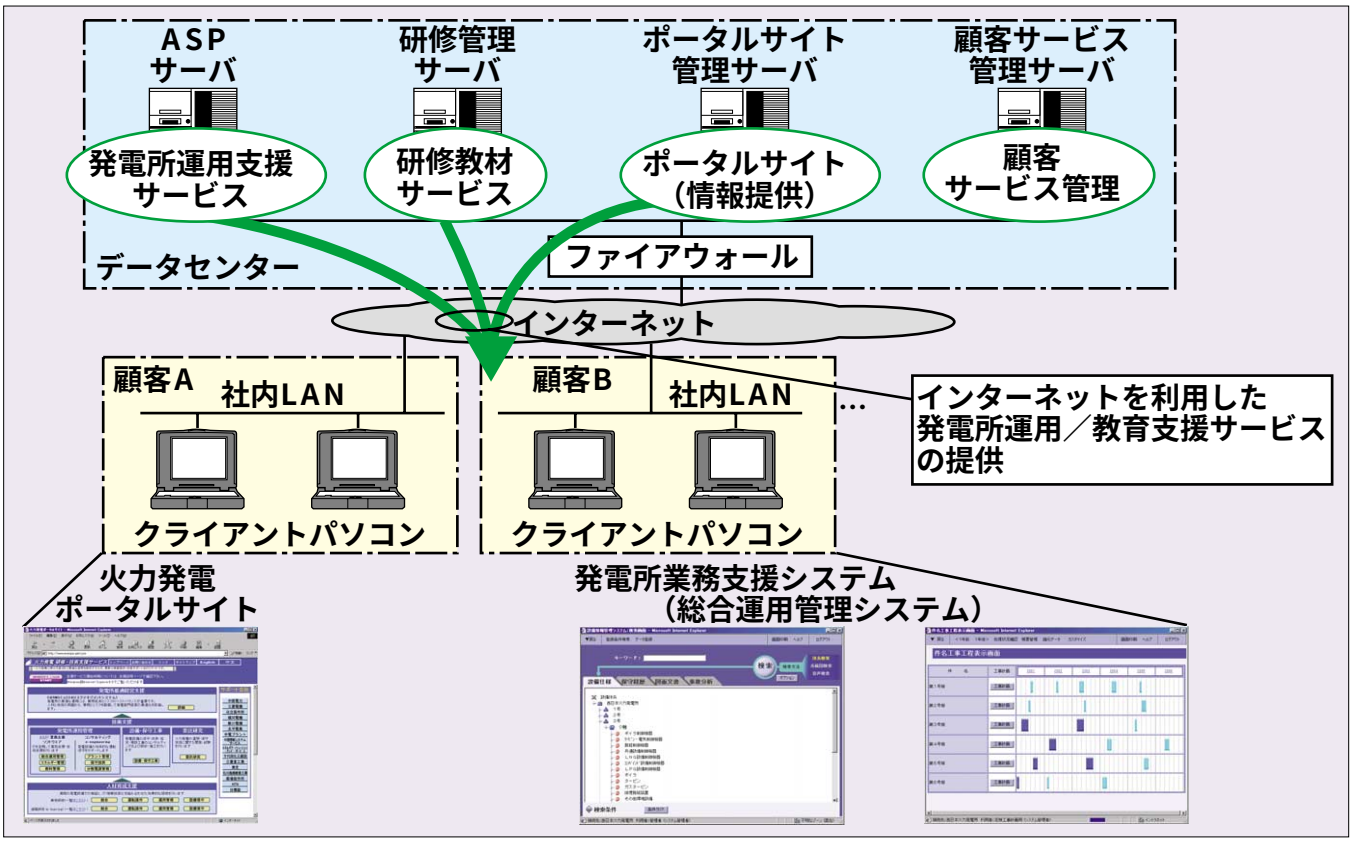
(2)　発電所総合運用管理システム

“総合運用管理システム”は，Java技術を適用したWebベースの３層クライアント／サーバシステムとして開発した。一元管理されたプラントの設備情報を中心に，業務のPDCA(Plan，Do，Check，Action)サイクルを有効に実施することをサポートする。

(3)　教育支援(e-learning)

図，動画，写真，音声を組み合わせ，インターネットを介し発電所の仕組み等を学習できるコンテンツを提供する。個人が時間に拘束されず，また，座学研修を組み合わせた効果的な教育の仕組みを提供する。

2002年４月１日に設立された中国電力と三菱電機(他５社)の共同出資会社“パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス”により，サービスを開始した。



電力事業者(電力，自家発他)向けＡＳＰサービスのサービス提供のシステム概念図

データセンターに設置された4台のサーバにより，電力事業者(電力，自家発他)向けに以下のサービスを提供する。
- 発電所運用支援サービス
- 研修教材サービス
- ポータルサイト(情報提供)

*電力・産業システム事業所